

「憩い・遊び・集い」の場 「グリーンベルト」とはどんなところ？

千歳駅から南西約 350m に位置し、
8カ所の広場が約 1km に渡ってつながっているグリーンベルト。
市は、市民の皆さんに「憩い・遊び・集い」の場として、
グリーンベルトを活用してもらえよう施設の整備などを実施しました。
今月の焦点は、リニューアルしたグリーンベルトを紹介します。

はじめます！ 千歳川桜プロジェクト

グリーンベルトと接する千歳川は、周辺の樹木や花壇などが道行く人を楽しませてくれています。

この樹木は昭和 50 年頃、市民が主体となり国道 36 号の千歳橋から日の出大通りの日の出橋までの間、桜や柳を中心に約 300 本植樹しましたが、倒木や病気によって、現在では約 100 本の桜を含む合計 180 本程度まで減少しています。

市は、これまで市民活動団体などから桜の寄贈を受けたり、補植を行ってききましたが、千歳川沿いの桜をもっと増やしてほしいという声はまだ多くあります。

市民の皆さんの憩いの場として、また多くの観光客が訪れる桜の名所となるよう、市は千歳川両岸に桜並木を形成する、「千歳川桜プロジェクト」を平成 28 年から平成 33 年までの 6 年間で実施します。

今年、グリーンベルト「清水町 親水公園」・「東雲町 花の広場」付近の千歳川周辺に 14 本のエゾヤマザクラを植樹する予定です。



受領式の様子
この事業の主旨に賛同いただいた「千歳川に桜並木をつくる市民サポートの会」から寄付の申し出があり、受領式(7月20日)を行いました。

※主旨に賛同いただける個人や企業、団体の方は、都市整備課までご連絡ください。



グリーンベルトは、昭和17年から昭和24年に防火を目的として整備した広い路地です。昭和59年から昭和62年の整備後、20年以上が経過し、施設の老朽化、樹木の繁茂による死角の発生、施設のバリアフリーなどへの対応が課題となり「グリーンベルト活性化事業」を実施しました。この事業では、平成21年から平成27年を期間として国の再編交付金を活用し、樹木の整理、遊具の更新のほか、イベントやお祭りができるステージ、千歳川を親しむことができる空間を整備しました。リニューアル後は、子どもから高齢者まで自由にくつろ



ぐことができる憩いの場に生まれ変わりました。グリーンベルトは一般の公園とは違い、6町(栄町、千代田町、幸町、清水町、東雲町、朝日町)にまたがっているため、「広場の名称が分かりづらい」、「広場の名称と場所が一致しない」などの意見が寄せられました。今回のリニューアルでは、名称に町名を追加して、おおよその位置を把握できるようにしました。



現在地が分かるように全ての広場に案内板を設置しました

さらに、市民の皆さんにとって親しみやすい広場となるよう、芝生広場と河畔公園を合わせて「清水町 親水公園」、ポエム広場を「東雲町 花の広場」、メロディ広場を「東雲町 かいじゅう広場」に名称を変更しました。※写真の()内は旧名称。

記事のお問い合わせは
都市整備課公園整備係
☎ (24) 0696